

岩手社保協ニュース

2023年7月3日(月) No8 (通刊140号)

〒020-0015

盛岡市本町通 2-1-36 浅沼ビル 6F

TEL・FAX 019-654-1669

E-mail i-shahokyo@aurora.ocn.ne.jp

「健康保険証を持ってない人」をつくり出す 健康保険証廃止の中止を求める請願を提出 10団体連名で提出(6/30)



五日市議長に請願書を手渡す小山田保険医協会会長(左から4人目)

6月30日(金)、県保険医協会、県民医連、いわて労連、県医労連、新婦人県本部、県商団連、県生健会、年金者組合県本部、県革新懇、県社保協の10団体は、五日市県議会議長に対して「健康保険証廃止の中止を求める請願」を提出しました。県社保協から高橋事務局次長が参加しました。

保険医協会の小山田榮二会長は、政府が来年秋に今の保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化する方針に対して「方針を見直すとともにトラブルの全容を解明し、解決策が見つかるまではマイナンバーカードのシステムも運用しないこと」を要請しました。

さらに「他人の情報で間違った薬を処方され、健康被害を生む懸念もある。システムの検証が不十分なので義務化を急がず、今の保険証も使えるよう残してほしい」と話しました。

請願書を受け取った五日市議長は、「さまざまな問題があるので県議会としても慎重に審議したい」と答えました。

県保険医協会の調査によると、6割をこえる医療機関がオンライン資格確認でトラブルがあったと回答。窓口で10割の負担を患者に請求せざるを得なかった事例も複数ありました。いのちにかかわる重大問題を放置することは許されません。

紹介議員は、希望郷いわて、日本共産党、社民党の3党でした。

テレビ局3社(NHK、朝日、めんこい)が放映しました。



健康保険証の廃止は中止・撤回を！

政府は適切に対応していると「**思わない**」67% (読売新聞)

マイナ保険証で受診した人のうち「**メリットない**」56.5% (厚労省)

保険証廃止 7割が延期・撤回を求める

健康保険証を一体化したマイナンバーカードをめぐり、深刻なトラブルが次々と明らかになっています。新聞各紙の社説でも、「見直しは今からでも遅くない」「一本化強行許されぬ」「現行保険証は維持すべき」など、政府の拙速で性急な動きに対して警鐘を鳴らしています。(右表)

共同通信の世論調査 (6月17, 18日) では、マイナンバーカードへの一本化について、72.1%が「延期」「撤回」と答えています。読売新聞の世論調査 (6月23~25日)

でも、政府は適切に対応していると「思う」が24%に対し「思わない」は67%でした。現在の健康保険証を2024年秋に廃止することに対して「賛成」が37%に対し「反対」は55%でした。

また、厚労省が行ったマイナ保険証で受診した人へのアンケートでは、56.5%が「メリットがない」と回答しています。

総点検と言いながら「全データ洗えない」

岸田首相はマイナンバーカードの総点検を行うとして「マイナンバー情報総点検本部」を立ち上げました。しかし、2024年秋に保険証を廃止する方針は変えていません。

政府の総点検の対象は「マイナポータル」で表示される29項目(3ページ)の情報のうち、誤登録の「リスクの高い事項」に限って全データを点検するとしています。(デジタル庁説明)

コンビニ交付サービスでの証明書の誤交付やマイナポイントのひもづけの誤りは含まれていません。デジタル庁の担当者は「すべてのデータを洗うのは自治体の業務負担が厳しい」と釈明したそうですが、マイナポイントで急速にカード取得をあり、自治体に負荷をかけておきながら業務負担が厳しいという言い訳は通用しません。(6/28 赤旗より)

保険証廃止を前提とする中で、中途半端な「総点

マイナ保険証トラブルと保険証廃止に関する新聞各紙の社説
読売新聞 保険証の廃止 見直しは今からでも遅くない(7日)

朝日新聞 マイナ保険証 「一本化」強行許されぬ(9日)

毎日新聞 混乱続くマイナカード 拙速排し立ち止まる時だ(9日)

産経新聞 マイナカード混乱 「普及優先」を見直す時だ(10日)

東京新聞 少なくとも現行の健康保険証は維持すべき(7日)

北海道新聞 いったん立ち止まり…徹底的に洗い直すのが先決(3日)

中国新聞 マイナカードの混乱 不備認め立ち止まる時だ(7日)

西日本新聞 来週秋の廃止は見送り…再検討すべきだ(9日)

信濃毎日 来週秋の健康保険証の廃止は取りやめべきだ(8日)

岩手日報 マイナンバー不信 保険証廃止は見直しを(24日)

河北新報 マイナ保険証強行 問題続出、立ち止まり見直せ(21日)

検」は、より一層の混乱をもたらすだけです。

耳を貸さない政権は退場を

マイナンバーカードと保険証の一体化は、利用が少ない今の段階でも大混乱を引き起こしています。何の落ち度もない患者、医療機関に多大な負担をもたらす保険診療の妨げとなっています。

岸田首相は会見で、マイナカードを「デジタル社会のパスポート」と呼び、国民全員に持たせることを改めて強調しました。命にかかわる医療を人質に取り、問題が起きても立ち止まることすらない政権は退場しかありません。

「マイナ保険証」に別人の情報
7300件余

マイナポイント
他人に付与

別人の公金受取口座
748件



家族名義の口座登録
するケースも
約13万件

希望していないのに
健康保険証と一体化

別人の証明書などを発行

マイナポータルで情報が取得できる 29 項目

医療	年金
① 健康保険証（保険者名、被保険者証記号など）	⑯年金（年金支払額など）
② 診療・薬剤（診療内容や処方薬など）	⑰年金その他（年金生活者支援金など）
③ 医療費（医療機関で支払った費用）	子ども・子育て
④ 予防接種（BCG やインフルエンザなど）	⑱児童手当（支払額、支給年月など）
⑤ 特定健診・後期高齢者健診（メタボなどの健診結果）	⑲ひとり親家庭（児童扶養手当など）
⑥ 検診（がんなどの健診結果）	⑳母子保健（妊娠届の情報など）
⑦ 医療保険（保険証の資格、高額療養費の給付など）	㉑教育・就学支援（就学支援金など）
⑧ 医療保険その他（制度間の支給調整に使われる情報）	㉒障害児支援・小児慢性特定疾患医療（給付情報など）
⑨ 学校保健（生活保護家庭向けに援助される医療費）	世帯情報
⑩ 難病患者支援（特定医療費の支給開始年など）	㉓世帯情報（住民票記録情報）
⑪ 保険証の被保険者番号など（保険証の券面に記載された情報）	福祉・介護
⑫ 医療保険情報が提供された状況や履歴	㉔障害保健福祉（障害者手帳など）
税・所得・口座	㉕生活保護（支給開始年月日など）
⑬ 税・所得	㉖中国残留邦人等支援（支援給付の開始など）
⑭ 医療費通知情報（医療機関で支払った費用）	㉗介護・高齢者福祉（介護保険に関する情報）
⑮ 公金受取口座（銀行名、口座番号など）	雇用保険・労災
	㉘雇用保険
	㉙労災補償

マイナポータルとは？

マイナポータルは、2017 年に開設された政府が管理・運営するウェブサイトで、マイナンバー法において「利用制限」は課されていません。マイナンバーとひも付いている医療保険情報や健康・医療情報、税務情報や年金情報といった非常に重要な情報が、自分専用のウェブサイトで管理されています。

マイナポータルに利用者登録して、自分自身の情報を見るには、マイナカードと 4 桁の暗証番号が必要で、原則本人が管理しなくてはなりません。

暗証番号を書いた紙と一緒にマイナカードを紛失すると、悪用されて本人の重要な個人情報や、別人に丸ごと知られる恐れがあります。

デジタル庁の「マイナポータル利用規約」

… 利用者に責任を押し付け、責任は取らない

第 3 条：「利用者は、自らの責任によりマイナポータルを利用し、マイナポータルが提供する以下のサービスやそれに関連する情報及びアカウントを適切に管理するものとします」

第 26 条：「マイナポータルの利用に当たり、利用者本人又は第三者が被った被害について、デジタル庁の故意又は重過失によるものである場合を除き、デジタル庁は責任を負わないものとします」

達増県政で積極的な子育て支援策の前進を

全市町村で「第 2 子以降 3 歳未満の保育料無償化」

達増県政は、積極的な子育て支援策として「第 2 子以降 3 歳未満の保育料無償化」を市町村とともに前進させました。（表）県が 1/2、市町村が 1/2 補助します。無償化の決定は、子育て世代の負担軽減策として県と市町村の合意のもとで決まりました。自民・公明・いわて県民クラブなどは、無償化を含む新年度予算に反対しました。

第 1 子から保育料無償化を行っている自治体は、昨年の 7 市町村から 12 市町村に増えています。

今回は第 1 子から保育料無償化の実現に向けた市民レベルの運動を広げ、県政をさらに前進させましょう。



7/2 知事選勝利をめざす宣伝行動

いわて子育て応援保育料無償化事業費補助実施状況

(対象:第2子以降3歳未満の保育料無償化と在宅育児への月1万円の支援、所得制限なし)

2023.4 現在

実施年度	第2子以降3歳未満無償化 所得制限なし (県1/2、市町村1/2)	在宅育児支援金 所得制限なし (県1/2、市町村1/2)			【参考】第1子から無償化 所得制限なし (市町村単独)	
		2023	実施(予定)	検討中	予定なし	2022
盛岡市	◎	◎				
宮古市	◎	◎			◎	◎
大船渡市	◎		◎			
奥州市	◎	◎				
花巻市	◎	◎				
北上市	◎	◎				
久慈市	◎	◎				
遠野市	◎	◎				
一関市	◎	◎				
陸前高田市	◎			◎		
釜石市	◎			◎		
二戸市	◎		◎			
雫石町	◎	◎				
葛巻町	◎	◎				◎
岩手町	◎	◎				◎
八幡平市	◎		◎			
滝沢市	◎	◎				
紫波町	◎	◎				
矢巾町	◎	◎				
西和賀町	◎		◎			
金ヶ崎町	◎	◎				
平泉町	◎	◎				
住田町	◎		◎			◎
大槌町	◎	◎			◎	◎
山田町	◎	◎			◎	◎
岩泉町	◎(7月~)		◎			◎(7月~)
田野畑村	◎	◎				
普代村	◎(7月~)	◎(7月~)			◎	◎
軽米町	◎		◎		◎	◎
洋野町	◎	◎				◎
野田村	◎	◎			◎	◎
九戸村	◎	◎			◎	◎
一戸町	◎		◎			
計	33	23	8	2	7	12

※県が斎藤議員に提供した資料から作成